



10月27日午後2時ごろ、群馬県前橋市の臨江閣に、突然、日本語を話す猫が現れた。頭と胴体が1対1の2頭身で、直立歩行し、体全体が青色。手はグーをしたままで、カンガルーのようにおなかにポケットを持っていた。警察の調べによると、この猫は「未来の国から来た。ボク、ドラえもん」と語り。おなかのポケットから竹とんぼのようなものを取り出すと、頭のとっぺんに取り付け、西の空へ飛んで行った。